

2026年4月16日

関係者各位

サーキュラーエコノミー標準化プラットフォーム事務局

第6回サーキュラーエコノミー標準化プラットフォーム

リレー講演会のご案内

～包装分野におけるCE対応と標準化～

拝啓 時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より国際標準化活動にご尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、一般財団法人 日本規格協会は、一般社団法人産業環境管理協会と共同で、サーキュラーエコノミーに関する標準化や規制対応等のルール形成に関する情報共有の場として「サーキュラーエコノミー標準化プラットフォーム（以下、CESP という。）」を、2025年8月25日付で設置しました。CESPは、「サーキュラーパートナーズ（CPs）の「国際連携・標準化WG」と連携・協力して活動しております。2025年度は、リレー形式で講演会を開催し、サーキュラーエコノミーに関する国内外の政策、資源循環、標準化をテーマとしてISO/IECのTC/SC等関係委員会の動向や業界毎の関連する欧州規制動向などについて業種横断的な情報共有を実施しました。本年度も、継続的に講演会を開催することとし、第6回は、「包装分野におけるCE対応と標準化」をテーマに、欧州包装・包装廃棄物規則（PPWR）とISO/TC122（包装）における標準化動向、食品接触を意図した再生プラスチックにかかる欧州規制への日本の取り組みと適合性評価制度について行います。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしております。

敬 具

記

1. 日 時：2026年7月8日（水）13:30～16:20（アクセス可能時間 13:15～）

2. 場 所：WebExウェビナー（オンラインによるライブ配信）

3. プログラム

時間	テーマ	講演者
13:30～13:35	主催者挨拶	（一財）日本規格協会 理事 野田 耕一
13:35～14:35	EU 包装規則と ISO/TC122 における標準化について	（公社）日本包装技術協会 包装技術研究所 包装材料 研究室長 井出 安彦
14:35～14:45	休憩	

14:45～16:15	食品接触を意図した再生プラスチックにかかる欧州規制〔PPWR、規則（EU）2022/1616〕への日本の取り組み	
14:45～15:30	① PPWRの動向と日本の取り組み	(一財)化学研究評価機構 食品接触材料安全センター 情報調査・広報室長 参事 石動 正和
15:30～16:15	② 欧州規則（EU）2022/1616に対応した日本における適合性評価制度の構築について	(一財)化学研究評価機構 東京事業所 高分子試験・評価センター 参事 上戸 亮
16:15～16:20	次回ご案内、終了	事務局

※プログラムは予告なしに変更する場合がございます。質疑応答は講演時間内に行われます。

4. 参加料及び定員：無料、定員制限なし

5. 申込：以下のURLにアクセスし、参加登録してください。

<https://japanese-standards-association.webex.com/weblink/register/r2ff567f52773a098741108189cf378dd>

※参加者には登録受付後に参加のためのURLが書かれた返信メールが自動配信されます。なお、参加登録いただいた情報は、今後のCESP活動のご案内のために利用させていただきます。

6. ご注意：

WebEx（オンラインによるライブ配信）で開催いたします。通信環境により、講演が継続できないと事務局が判断した場合は、途中でも中止とする可能性がございますので予めご了承ください。

7. アーカイブ配信：

開催後、アーカイブ配信サービス（有料）を予定しています。

8. 事務局・問合せ先：

一般財団法人 日本規格協会 国際標準化戦略推進センター 戦略企画チーム

サーキュラーエコノミー標準化プラットフォーム事務局

〒108-0073 東京都港区三田3丁目11-28 三田 Avanti

Tel：050-1742-6017 E-mail：cesp@jsa.or.jp 受付担当：半田、相沢

以上